



UIFA ニュース

発行 宇治市国際親善協会

事務局 〒611-8501 宇治市宇治琵琶33 宇治市役所秘書課内
電話 0774-22-3141 (内線2057) FAX 20-8776
E-mail BCH04550@nifty.com ホームページ <http://homepage3.nifty.com/uifa/>

第 54 号

平成20年(2008年)1月

カムループス市公式訪問団が来宇

カナダ・カムループス市からテリー・レイク市長を団長に23人の公式訪問団が10月14日(日)から17日(水)まで来訪されました。宇治市役所への表敬訪問などの公式行事や萬福寺の座禅体験、平等院や対鳳庵でのお茶接待を受けるほか、宇治市国際親善協会と宇治国際交流クラブが共催した市民歓迎交流会へも積極的に参加をされました。

テリー・レイク市長は「宇治市中学生のホストファミリー役を4年間に亘り引き受けてきた。その折には日本の素晴らしい文化を学ばせていただいた。今回は市長となつてはじめての訪問で、妻も伴い特別の思いを持って訪問した。娘も含め若い世代の者のホームステイもお願いをした。この機会に少しでも多く、素晴らしい日本の文化に触れたい。」とご挨拶、市民との交流を楽しまれました。



楽しい
交流会



座禅体験しました



平等院にて



植物公園にて

会員募集と会費納入のお願い

平成19年度の会費納入をお願いします。当協会の運営は皆様の運営によって成り立っています。会の運営活動を活発に行うため、皆様方の会費納入をよろしくお願いします。併せて、会員の募集をしています。皆様方のご協力をお願いします。

会費	個人会員	2,000円
	団体会員	5,000円
	法人会員	10,000円

振込先 京都銀行宇治支店普通預金…67845

受取人は「宇治市国際親善協会」です。

既に納入いただいております際にはご容赦ください。



「世界の国からこんにちは！」

宇治市国際親善協会では協会設立 20 周年記念行事としてミニ講演会をシリーズで開催しています。

第2回 大草原の国モンゴル

第2回は「大草原の国モンゴル」をテーマに6月16日(土)ゆめりあうじにおいて、ユニチカ宇治工場に入社されて世界でプラント建設に携われ、退職後はモンゴル国で JICA シニア海外ボランティアとして活躍されました迫和成さんに、モンゴル国の気候、文化、特産品や暮らしを紹介していただきました。また、京都大学に留学中の南ゴビ出身のプレウスレン(Purevsuren)さんとウランバートル出身のバーサンフ(Baasankhuu)さんの2人の女性研究者も応援登壇され、お国自慢や日本での生活を通して感じたことを紹介していただきました。会場には約70人が訪れ、「モンゴル国にいつてみたい。」「観光事情、福祉事情、教育事情はどのようなのか。」など、熱心な質問がされ、意見交換を通してモンゴル国を身近に感じていただきました。



第3回 光り輝く島スリランカ

第3回は「光り輝く島スリランカ」をテーマに9月29日(土)ゆめりあうじにおいて、友好都市ヌワラエリヤ市があるスリランカ共和国のお国自慢と、ご自慢のスリランカ料理やおいしい紅茶について、大阪の専門学校にてアジア文化の講師を経て、現在はスリランカ料理店を経営のサマン・ペレラ(Saman Perera)さんに講演していただきました。「日本のカレーは日本料理です。日本のカレーとスリランカのカリーは別のものです。」ときっぱり。「スリランカの人は時間を気にしません。私も日本にいるときは約束の時間を守りますが、スリランカに帰ると時間どおりでないことが気にならなくなります。」と、ゆったりと流れている時間感覚の中にある国民性を披露。また「キャンディ市はスリランカの歴史ある街、ヌワラエリヤ市はイギリス人が造った別荘地。」と成り立ちから特徴を分かりやすく解説。気候や、文化、観光など広い分野での話をされました。紛争については「スリランカの人はお茶の栽培を知らなかったの、イギリス人はインドからお茶の栽培に従事できるタミル人を連れてきた。イギリスが引き上げた後タミル人は残って自分たちの国を欲しいといっている。」と経緯を解説。そして一日も早く紛争が終らなければならないと……。短い時間ではありましたが、約40人の参加者に講演と交流を楽しんでいただきました。



中国の音楽を聴く会

宇治市国際親善協会設立 20 周年を記念して「中国の音楽を聴く会」を、10月7日(日)黄檗山萬福寺の境内をお借りして、また宇治市日本中国友好協会の協力を得て、開催をしました。

上林春松会長の設立 20 周年を祝う挨拶に引き続き「川の流れるように」「夜来香」「花」など馴染みのある曲目を中国楽器で演奏。中国古箏(こそう)の奏者には中国咸陽市出身の呂模さんを、中国琵琶には金鑫さん、瓢箪笙(ひょうたんしょう)には李浩さんを迎え、呂楠さんの司会により進められました。

夜の帳がおりた萬福寺の境内で約 150 人の来場者が中国情緒豊かな楽器の音色を楽しみました。



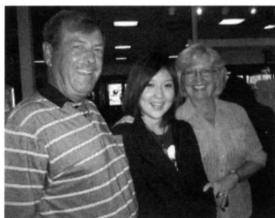
カムループス留学を振り返って

中 村 志 帆 里

私は昨年の4月から8月までの4ヶ月間、宇治市の姉妹都市であるカナダのカムループスで過ごす機会をいただきました。留学は二度目でしたが新たな発見がたくさんあり、言語や文化をはじめ様々なことを学べたことは大変貴重な経験となりました。



カムループスに向かう飛行機の中では、日本から遠く離れた地で暮らす不安がありましたが、その気持ちは現地に着いてすぐになりました。私が思っていたよりもカムループスの人々は宇治市のことをよく知っていたからです。日本の京都から来たという、ほとんどの人が「宇治市ですか」と先に名前を挙げてくれ、歓迎してくれました。特に私のホストファミリーはホストマザーが市役所の役員だということもあって宇治市に何度も訪れたことがあり、宇治に行ったときの写真を見せてくれたり思い出話をしてくれたりして私の不安な気持ちを消し去ってくれました。また宇治市民である私が家族の一員となることをとても光栄に思ってくれていて、おかげで私はすぐにカムループスを第二のホームタウンとして受け入れることができました。滞在中は現地の大学であるトンプソンリバーズ大学（TRU）に通学し、英語を第二外国語として学ぶ学生のために設け



られた授業を受けていました。留学生対象のクラスだったのでカナダの学生と接する機会は少なかったのですが、世界中から来た学生と勉強できたことは大変よい経験でした。授業は今まで日本で受けてきたものとはまったく違い、とても質が高く驚きました。TRUでは先生が一方的に進める受動的な授業ではなく、生徒が気軽に発言できるアットホームな雰囲気や質問が絶えず先生は丁寧に納得いくまで教えてくれます。何度も複雑な質問をして先生を困らせ迷惑ではないかと心配していた私でしたが、先生に「あなたがしてくれる質問は、まだまだ私が勉強不足だと気付かせてくれるから大好きよ。いつも質問してくれて本当にありがとう！」と言ってもらえたときは本当にうれしかったです。日本もこのような理想的な先生と生徒の関係を築くために、授業内容のみにとらわれず授業形式や雰囲気作りにもっと力を入れるべきだと感じました。日本ではなかなかできない貴重な経験として特に印象に残っているのが、私がインストラクターとなり留学仲間にダンスを教えたことです。ある授業で趣味であるロックダンス（ストリートダンスの一種）について発表しダンスへの熱意を伝えると、ダンスが好きな生徒は他にもいるかもしれない、呼びかけと一緒にしてみてもどうかと先生が提案してくれたのがきっかけでした。留学生支援団体に手伝ってもら

いポスターを作成し、その甲斐もあってかレッスンにはたくさんの人が来てくれました。国によって好みが違うことが多いので海外でうけるのだろうかとか心配でしたが、来てくれた学生の国籍は様々で初めて見るロックダンスに興味を持ち、カッコいい！楽しい！と口を揃えて言うてくれました。ダンスを英語で教えた経験がなかったので簡単ではなかったですが、踊る楽しさを知ってもらえたときの喜びは忘れられません。

普段は日記をつけない私ですが、留学中は毎日つけて経験を形に残そうと決心し、欠かしませんでした。今になってそれを読み返すと、何もなかったという日は一日もなく、毎日が充実していたことに気付きました。そして、その日々は友達やホストファミリー、先生など滞在中に出会った人々がいなければ絶対になかったと確信しています。また、この留学の機会をいただければカムループスでの生活もなかったと思うと、本当にたくさんの人の助けがあってこそその貴重な経験であったと実感し、感謝の気持ちでいっぱいです。これからはこの経験を生かし、宇治市とカムループス市の国際交流に貢献していきたいと思っています。

お知らせ

国際交流講演会（第五回）
世界の国からこんにちは！

テーマ「カムループス市と宇治」

講師 友好都市カムループス市からの英語教師

ケイトリン・デューハーストさん

ジュリア・ニューマンさん

キャサリン・カーニーさん

日時 平成二十年一月十九日（土）

午後二時から三時四十五分まで講演及び交流

場所 宇治市民会館3階

会員・一般市民 参加無料（当日直接会場へ）

主催 宇治市国際親善協会

共催 宇治国際交流クラブ

咸陽市公式訪問団が来宇

今村周子